

食育だより



4月号

令和5年4月19日

大村市学校給食センター



ご入学・ご進級おめでとうございます。給食センターでは、安全や衛生に配慮し、栄養バランスのとれた食事を提供することで成長期の心と体を支えています。

今年度も、行事食、長崎県や日本各地の郷土料理、世界の料理などを取り入れていきたいと考えています。



毎月19日は食育の日です。「食」の大切さについて考えてみましょう。

食べることは生きるための基本です。食育とは、一生を心身ともに健康で楽しく生きるための力を「食」をとおして身につけることをめあてとしています。食育だよりでは、「食」についての情報をわかりやすく発信したいと思います。

学校給食について



給食等を通して学び、身に付けたいこと (食育の視点)



食事の重要性



食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。

心身の健康



心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。

食品を選択する能力



正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。

感謝の心



食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。

社会性



食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。

食文化



各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

出典：文部科学省『食に関する指導の手引―第二次改訂版―』(H31.3)

教育の基礎となる食育は、学校だけでできるものではありません。ご家庭の協力が不可欠です。例えば食事のマナーも学校で指導しますが、ご家庭でも食べるときの姿勢や箸の持ち方などお話ししていただきたいと思います。学校とご家庭が連携することで、子どものうちにしっかりした土台となる食習慣を身につけさせたいものです。



大村市では、小学校給食センターで小学校15校、中学校給食センターで中学校6校の給食を調理配送しています。今年度も、子どもたちが安心・安全でおいしい給食が食べられるよう、給食センター職員一同、力を合わせて頑張ります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。